

R6第3回 岩木川流域生態系ネットワークワーキンググループ

～R6活動実績とR7活動予定～

◆目的と概要

- ・岩木川の周りに広がる自然や農地は、実にさまざまな生き物のすみかで、わたしたち人間の生活にもたくさんの恵みをもたらしてくれる「たからもの」である。岩木川流域における人と自然のかかわりを知っていただく活動を通して、このたからものを未来へつなぐ取り組みを進めている。
- ・第1回では今年度の取組予定と推進行動計画案について、第2回では岩木川ウォーキングイベントをはじめとした来年度取組予定の素案やロゴマーク決定方法について。今回は今年度取組報告や来年度取組内容の詳細、ロゴマークアンケートの結果について議論した。

◆開催日時等

日時 令和7年1月31日（金）13：30～16：00
場所 弘前防災ステーション
主催 青森河川国道事務所
出席者 弘前大学 東教授
NPO法人つがる野自然学校 谷口理事長 ほか1名
岩木川漁業協同組合 事務局 小山氏
公益社団法人 弘前観光コンベンション協会 白戸専務理事
青森河川国道事務所 職員 6名
岩木川ダム統合管理事務所 職員 3名

◆意見交換内容

- ・岩木川上流にてミズアオイが植生していることは珍しい。群生しているならばビオトープに移植しても良いかもしれない。
- ・スノーアートについて津軽ダム会場を周知するためにも、水辺プラザを追加し、計2箇所で開催したらどうか。
- ・ウォーキング参加者にお持ち帰りできるものがあると参加率が上がる（例：トールペイント、イベントのマーク付きの軍手）。加えて、参加者に次回のウォーキングコースの希望を募ることで今後につながっていくのではないかな。
- ・ネットワークという枠組みで考え、岩木川ダム統合管理事務所や県とタイアップしたらどうか。津軽ダム展示室へ生態系ネットワークのブース設置や、県管理区間と一体化してアユが多い相馬川等の支川でイベント実施したらどうか。

◆活動報告等

【R6活動報告】

- ・『自然観察教室』と題し、水辺における安全講習や生き物調査、ヤマメの放流を実施。『あおぞら水族館』と題し、岩木川水域に生息する魚類を一般向けに展示。岩木川ダム統合管理事務所もダム主催のイベントについて報告。
- ・昨年度掘削したその後の河川掘削モニタリング調査結果を報告。

【R7活動予定】

- ・富士見橋～岩木橋の4km区間を回るようにウォーキングを予定。



ワーキンググループ (R7.1.31)



自然観察教室 (R6.7.8)



あおぞら水族館 (R6.7.27)



ミズアオイ (R6.9.3)



ウォーキングポスター案